

APRENだより 第24号



(社) 日本技術士会九州支部 長崎県技術士会
平成21年1月10日

発行・責任者 犬東洋志

平成21年の新春を迎えて

長崎県技術士会会長 犬東 洋志

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。私も72回目の新年を無事迎えられたことを喜んでます。

「国がその体をなしていない」と思っている一人として、立て直す術を持ちえませんが体力気力の維持だけは持ち続けたいと思っています。

今年のテーマを「サスティナビリティ」にします。昨年は「水」と「第4の火」でしたが、大栄開発に所属する会員のご配慮があって工業高等専門学校とのご縁が出来佐世保での研修会も盛況でした。「サスティナビリティ」の説明は何方かにお願いするとして奥の深い学問の世界です。地球を守るために努力してゆきます。

長崎県技術士会の活性化のために、ひとつは産学官連携の必要性から何かの仕掛けを考えてみたいと色々ご意見を伺っていますがどうもおこがましいことのようにです。

もうひとつは、会員相互の意見交換の画面を作成したいと思いついています。日に一度はわれ等のHPにアクセスして下さる習慣を持っていただき、気さくな意見をいただきながら、何かを得て行きたいと思うのです。

もうひとつは、お隣の国、李明博大統領に注目しています。私はハンブルグが出来ません。何方か情報を得て伝授して下されば幸いです。

「万事休す」はまだ窮していないのです。その体験は皆さんが持っておられるのでしょうか。私は「技術は自ら磨くもの」とよく言いますが、このことを忘れないでほしいのです。技術士は見識を高めなくてはなりません。及ばずながらそのお手伝いはしたいと思えます。今年も努力してよい年にしてゆきましょう。

研究発表会、研修会等の開催・出席報告

長崎県技術士会副会長 山口 和登 (応用理学)

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、当会報の第23号(前回)でお知らせしておりました研究発表会、研修会等が、昨年10月から11月にかけて多数開催されました。その内容について簡単でございますが、報告いたします。

・ 平成20年10月29日(水)

長崎県技術士会佐世保 地区研修会 (CPD)

佐世保市山澄地区公民館において会員20名の参加のもとに開催されました。内容の詳細については省略しますが簡単に述べますと以下の通りです。

中島規行先生 (日本工営株式会社・技術士) の「健全な水循環系の構築に向けて～日本の水問題と解決の方向性～」、久留須誠先生 (佐世保工業高等専門学校・教授・博

内容は「佐賀導水事業と城原川ダム建設事業について」と題して国土交通省佐賀河川総合開発事務所長の久保朝雄技術士が最初に講演され、後半に「農村地域の活性化に向けた取り組みの一事例」と題して長崎県農村整備課の豊里和徳技術士の講演がありました。

豊里技術士の講演内容は前述の西日本大会での発表内容をより詳しく1時間以上の長時間に亘って講演していただきました。

長崎県技術士会からは4名の出席があり、懇親会にも私(山口)と大橋代表幹事の2名が出席し、佐賀県の技術士との交流を深めました。

以上、研究発表会等の内容についてご報告しましたが、上記開催は県内で2件、県外で2件の開催であり、今年も昨年より充実した県内外での研修会等を企画したいと思っておりますので、会員皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

長崎県技術士会

ホームページご利用のお願い

西村 博崇 (建設)

長崎県技術士会のホームページ(HP)は平成18年度から運用を始めています。研修会等の案内や、機関誌を掲載していますのでご利用ください。

HPのアドレスは、

<http://www.nerc.or.jp/APREN/> ですが、「長崎県技術士会」で検索もできます。会員のページに入るにはユーザー名とパスワードが必要ですが、これは極秘で機関誌には掲載できませんので、西村まで電話(0957-54-1600 長崎県建設技術研究センター)かメール(h_nishimura@nerc.or.jp)で問い合わせして下さい。また、HPの運用については、会員の皆様には色々なお考えがお有りと思えますので、ご意見等をお寄せいただければ幸いです。

(社) 日本技術士会九州支部の動き等

長崎地区代表幹事 大橋 義美 (総監・建設)

1. (社) 日本技術士会の公益法人化へ向けて
新たな公益法人制度改革の下で、公益認定を目指し定款の変更などについて議論されています。
2. JABBE 認定校に対する説明委員について
既に、JABEE 課程教育機関として認定され、又今後認定される大学、高専等の教員・在学生へ「技術士について」の説明会を行うための、説明委員を長崎地区では、久原俊之氏(水産)、高山能博氏(機械)、山口和登氏(建設)、桐原敏氏(建

士)の「佐世保高専の教育研究と産学官民連携について」の2題の講演がありました。2題とも考えさせられる内容で非常に勉強になりました。特に長崎県技術士会と高専との連携についての提案は興味深いものでした。又、研修会終了後の懇親会には久留須先生参加のもと16名の出席で、楽しく意見交換を行いました。

・平成20年11月7日(金)8日(土)

日本技術士会本部水産部会研究発表会

水産部会の研究発表会は東京と地方で交互に開催されており、前回の地方開催は北海道(札幌)で、今回は全国有数の水産県である長崎で開催されました。7日(金)は現地見学会として新長崎漁港での県担当者の漁港施設の説明や長崎漁港水産加工団地の見学が行われ、その後現地近くの会場で意見交換会、懇親会が行われ参加しました。

8日(土)は長崎大学水産学部第1講義室で研究発表会が開催されました。今回の研究発表会に際してご協力(後援)頂いた長崎大学水産学部の片岡千賀之学部長の御挨拶に続き研究発表会、午後の部のはじめに水産学部の橘勝康教授の「魚の鮮度について」と題して記念講演がありました。研究発表は12題あり、水産部会会員や長崎大学大学院生、そして長崎県技術士会の中からも久原俊之技術士の「技術士活動の実践例」犬東洋志(会長)技術士の「新長崎漁港の計画事例」の発表がありました。研究発表会には70名からの出席があり、今回後援した県技術士会からも13名の出席がありました。本部から出席の久下部会長も大会の成功を喜んでおられました。

・平成20年11月14日(金)15(土)

西日本技術士研究・業績発表年次大会

西日本技術士研究・業績発表年次大会は今回が第14回で鹿児島市の鹿児島市町村自治会館で約120名の参加で開催されました。大会のテーマは「地域の観光に向けた技術士の取り組み」であり、第1分科会で8編、第2分科会で8編の発表がありました。

記念講演は維新ふるさと館の福田賢次館長の「篤姫が生きた時代背景と薩摩」の演題で興味深い話がありました。

長崎県技術士会からは豊里和徳技術士、山口昭光技術士の「農村地域の活性化に向けた取り組みの一事例」、犬東洋志技術士、若杉泰昭技術士の「近代水道の父“吉村長策”の遺産の研究」の発表がありました。

長崎県技術士会からは発表者を含めて大会には8名の参加があり、15日(土)のテクニカルツアーにも2名の参加がありました。

・平成20年11月29日(土) 技術懇話会

技術懇話会はNPO法人「技術交流フォーラム」と日本技術士会九州支部佐賀地区が主催するもので、長崎県技術士会は協賛しており、今回も1名の講師の派遣をしました。又、例年通り佐賀県宇宙科学館(武雄市)で開催されました。

設)、大橋義美(建設)の5名を支部へ登録しています。説明委員として登録を希望される方は申し出て下さい。

尚、現在、長崎地区では、長崎大学工学部及び水産学部、佐世保高専がJABBEに認定されています。

3. 日本技術士会への入会のお誘い

技術士登録者の方で現在活動している人は、4.5~4.8万名程度と思われます。この内、会への入会者は、現在約1.3万名で、入会率30%弱で少いのが現状です。このため、本部では会員拡大へ向け、会員拡大委員会(KK委員会)が設置され拡大へ向けての取り組みがなされています。

まだ入会されていない方には会員になっていただきたくよろしくお願ひします。

4. 各研修会の開催について

九州支部等では、研修会等が開催されています。その都度、メールで連絡していますが確実に連絡が行くため、各人で「(社)日本技術士会九州支部」のHPを時々開いて研修会案内などをみて、興味のあるものについては直接申し込み参加して下さい。

技術者情報提供のお願い

現在、長崎県技術士会では会員各位の技術士分野、勤務先等について一定の把握はしていますが、選択分野や専門分野及びその他の技術情報等の公開可能な内容について、先般より会員各位にお願ひし、現在までに30数名より技術者情報をいただいております。

技術者情報の有効活用・充実化を図るため、会員各位におかれましては、技術者情報提供について一層のご協力をお願ひいたします。

技術者情報提供の様式は長崎県技術士会ホームページに掲載されています。また、記載内容・方法等で不明な点がございましたら、広報・機関紙担当：桐原までご連絡下さい。

尚、会員名簿の作成を現在進めております。内容的には、会員名、所属、専門分野、技術者情報の有無の掲載程度でコンプライアンスに配慮した内容です。この名簿を、五十音別、所属別、専門別にまとめております。各会員の所属や専門についての確認を御願ひします。変更等のご連絡がない場合は現状の内容で名簿をまとめてたいと思いますのでよろしく御願ひします。確認後、名簿がまとまり次第公開したいと思ひます。

機関紙発行担当より

次号以降の機関紙の投稿者を求めています。自薦・他薦問わず、どなたかいらっしゃいましたら

情報をお寄せください。

大栄開発(株) 桐原 敏

〒857-1151 佐世保市日宇町 2690 番地

TEL ; 0956-31-9358 FAX;0956-32-2711

E-mail : s.kirihara@daieikaihatsu.co.jp

※住所・所属・連絡先等を変更された方はご一報を!